

最終試験結果の要旨	
学位申請者氏名	Luong Thi Dan
審査委員	主査 鹿児島 大学 准教授 坂井 教郎
	副査 鹿児島 大学 教授 田代 正一
	副査 佐賀 大学 准教授 辻 一成
	副査 佐賀 大学 教授 藤村 美穂
	副査 琉球 大学 教授 内藤 重之
審査協力者	印
実施年月日	令和3年7月30日
試験方法 (該当のものを○で囲むこと。) <input checked="" type="radio"/> 口答 <input type="radio"/> 筆答	
<p>主査および副査は、令和3年7月30日の公開審査会において、学位申請者に対し、学位申請論文の内容について説明を求め、関連事項について試問を行った。具体的には別紙のような質疑応答がなされ、いずれも満足できる回答を得ることができた。</p> <p>以上の結果から、審査委員会は申請者が博士（農学）の学位を受けるに必要な十分の学力ならびに識見を有すると認めた。</p>	

学位申請者 氏名	Luong Thi Dan
-------------	---------------

【質問 1】 男性と女性との間で牧草を収穫する時間に大きな差はないが、なぜ収穫された牧草の量に大きな違いがあるのか？

【回答 1】 調査データによると、ほとんどの牧草の収穫は女性によって行われ（回答者の 90%）、彼女たちは牧草収穫に対する経験とスキルを持っている。このことが女性の牧草収穫作業の生産性に影響している。

【質問 2】 男性と女性が協力して牧草を収穫しているのか？

【回答 2】 男性と女性が協力しているとの回答もあったが、本研究では協力の有無は区別して分析を行っていない。

【質問 3】 調査対象は畜産以外の農業生産や農外の仕事にも従事しているのか？女性が家庭内の家事を含めた多くの仕事に従事しているなかで、なぜ畜産への関与だけを対象としたのか？

【回答 3】 畜産農家は作物栽培も行っているが、主な収入源である畜産に分析の焦点を当てた。女性の場合、農業と農外の両方の仕事に従事している割合は全体の約 7%であり、多くの女性が主に農業に従事している。男性の場合、農外の仕事への常時雇用や一時雇用もある。

【質問 4】 農業労働者の数はこの研究の重要な要素であるが、ここでの労働者の定義は？

【回答 4】 この研究における農業労働者は 15 歳以上の生産年齢人口を指す。

【質問 5】 少数民族の状況について補足説明をしてほしい。

【回答 5】 ベトナムでは特に山岳地域において複数の民族が暮らしている。ベトナム語を話すキン族以外の民族は、独自の言語と文化を持つ少数民族と見なされている。

【質問 6】 調査地の社会的規範はどのようなものがあるのか？

【回答 6】 山岳地域では男性が女性よりも尊敬され、より多くの権力を持ち、世帯のすべての領域を管理しているなどの伝統的な規範がある。特に少数民族では一般に、女子は学校に通わずに農業と家事を手伝っている。

【質問 7】 言語の問題は、女性が牛の販売に関与する時の意思決定力が低い理由なのか？

【回答 7】この研究では同じ言語を話す家庭内の男性と女性の間意思決定に焦点を当てており、言語が女性の意思決定に与える影響は確認できていない。しかしおそらく言語は理由の1つと考えられ、今後の研究でその影響を確認する必要がある。

【質問 8】第3章の政策含意によれば、政策は少数民族の女性を対象とすべきとあるが、政府や自治体は何を行う必要があるか？

【回答 8】まずは少数民族における女性のジェンダー格差についての認識を高めることが重要であり、ジェンダーに関する法律や女性の権利を理解するための情報の提供が必要である。そしてそれらは少数民族の言語で提供される必要がある。

【質問 9】回帰モデルにおいて、教育の変数は統計的に有意な影響を及ぼしていないが、なぜ（少数民族の）女性のための訓練を提案したのか？

【回答 9】このモデルにおける教育の影響は、民族の違いを除いた教育全般の影響である。少数民族への教育の必要性を示すには、民族の違いと教育の交差項をモデルに組み込む必要があるが、そうした分析は行っていないため、訓練の必要性についての記述は削除したい。ただし民族の変数は有意となっていることから少数民族を対象とした施策は必要であると考えている。

【質問 10】女性は牛の生産販売に多く関わっているが、なぜ意思決定力は小さいと言えるのか？

【回答 10】女性は牛の販売にも関与しているが、価格などの重要な事項に関しては夫の指示に従っており、本人の意思決定とは言えない。

【質問 11】第2章で、女性労働力が農業所得にプラスの影響を与える理由を理解するには、さらなる分析が不可欠であると述べているが、どのようにその分析を行ったのか？

【回答 11】第2章では、女性が農業所得にプラスの影響を与えていることがわかったが、そのメカニズムについては説明できていない。次章以降で女性の貢献と意思決定の観点からそのメカニズムについての説明を行っている。

【質問 12】農業労働者の数が増えると、女性の意思決定力が低下すると述べているが、その問題の解決には何が必要か？男性は農外の仕事に従事した方がいいのか？

【回答 12】そのように考えている。農業労働者数の多さを過剰労働力の存在と解釈すれば、男性の農外の仕事への従事は、収入の向上だけでなく、女性の役割向上にもつながる。この場合、農外の仕事を探すように奨励されるべきであり、そのための労働市場の整備も必要になってくる。